

いいだ未来デザイン2028「後期計画」策定に向けた
令和6年度
「市議会による行政評価」からの提言書

令和6年9月30日

飯 田 市 議 会

1 議会による行政評価の目的

令和6年度の「議会による行政評価」は、

- 飯田市自治基本条例第22条の規定に即し、市の執行機関の活動を監視することによって適正な行政運営の確保に努めること
- 議決事件とした基本構想基本計画の進行管理に関与することで、議会としての責任を果たすこと
- 決算期に基本構想基本計画の体系を踏まえて政策の評価を行い、その結果を次の予算審議時に反映させる行政評価の手法を用いた政策サイクルを実現すること

を 目的に実施した。

2 令和6年度の実施経過

中期計画の最終年にあたることから、「いいだ未来デザイン2028後期基本計画策定」に向け、7月22日・23日に執行機関側から「中期計画の振り返り」とともに、「後期基本計画の素案（基本目標の枠組み）」について説明を受け、総務、社会文教、産業建設の各分科会、及び必要に応じて連合会議において評価・意見集約するとともに、予算決算委員会（8月6日）において全議員で共有し、執行機関側に提言した。

9月定例会では、「いいだ未来デザイン2028後期計画 原案」の説明（9月6日）から、担当する分科会等において評価・意見集約し、予算決算委員会（9月27日）において全議員で共有し、9月30日の本会議において決定した。

後期計画へ向けての提言の視点

- 後期計画策定に向けた課題認識と今後の方向性について、認識の妥当性を評価する視点
- 後期計画（素案）の方向性や、施策の選択、集中、重点化の視点
- 後期計画（原案）の説明を受け、方向性や、施策の選択、集中、重点化の視点

3 提言書について

提言の内容は、「基本目標のねらい（後期計画4年間の取組の方向性）」及び「戦略の考え方」を基本目標毎にまとめた。

基本目標 1	市民が将来にわたり地域に 誇りと愛着を持てるまちをつくる	担当 分科会	連合審査
--------	---------------------------------	-----------	------

○ 基本目標と「ねらい」と戦略（考え方）

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ 素案への指摘事項に対 しての対応状況の確認	【不足している視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【課題と思われる視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【判断に迷う点】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ 「素案」から「原案」へ 至る考え方は	【基本目標と「ねらい」の考え方は】（☐ 概ね妥当 ☒ 一部変更） 【指摘事項】 ・ 中心市街地の活性化、まちの歴史を語る視点として「りんご並木の精神」の言葉が必要と考える。「ねらい」6つ目の項目は「〇りんご並木の精神が息づき、市民が集い・憩う、交流や賑わいが創出される魅力的な丘のまちを形成します。」としたらどうか。 【「戦略（考え方）の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ その他気付いた点	・ 飯田市のまちづくりの理念として受け継がれてきた「りんご並木の精神」が、今後も後世に引き継がれるようなまちづくりを推進されたい。また、「りんご並木の精神」を市民に知ってもらう取組みを継続して行われたい。

基本目標2	人がつながり助け合い、社会基盤を強化して 安全・安心なまちをつくる	担当 分科会	連合審査
-------	--------------------------------------	-----------	------

○ 基本目標と「ねらい」と戦略（考え方）

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ 素案への指摘事項に対しての対応状況の確認	【不足している視点】（☒ 概ね妥当） ・ 素案への指摘事項の対応として「社会基盤の強化」について、新たに基本目標と「ねらい」に明記をいただいた。 ・ 河川の危険個所の把握、事前の社会インフラ整備の情報共有、能登半島地震からの当市に生かす10項目の教訓については、今後示される小戦略等で注視していくこととする。 【課題と思われる視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【判断に迷う点】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ 「素案」から「原案」へ至る考え方は	【基本目標と「ねらい」の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【「戦略（考え方）の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ その他気付いた点	・ なし

基本目標3	飯田（ここ）で育ってよかった ・ 育ててよかったと実感できるまちをつくる	担当 分科会	社会文教分科会
-------	---	-----------	---------

○ 基本目標と「ねらい」と戦略（考え方）

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ 素案への指摘事項に対しての対応状況の確認	【不足している視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【課題と思われる視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【判断に迷う点】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ 「素案」から「原案」へ至る考え方は	【基本目標と「ねらい」の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【「戦略（考え方）」の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ その他気付いた点	・ 【ねらい】の3つ目、「こどもにとって家庭は<u>最初の学校</u>」、「家庭が一番安心できる環境づくりを地域全体で進めます」について、分科会では、具体的にどのようなことなのか理解し難いなど様々な意見が出された。小戦略を考えるときには、整理し、明確にされたい。 ・ 【戦略（考え方）】の2つ目「こどもが欲しいと望む時から」の表記について、分科会では、「（委員会として現役女子高生の「子育ては大変」との声を聴いた経過からも）この時期とした理由がわからない」など様々な意見が出された。素案においては「系統的な生き方教育（（仮称）いいだ未来創造教育）の実践により」などが記述されている項目も併記されていたことから、相対的に理解できた。原案における項目の並び替えも含めて再度検討されたい。 ・ 【戦略（考え方）】の5つ目「様々な困難を抱えるこども・若者や家庭を誰一人取り残さず」の表現は、「様々な困難を抱えるこども・若者やその家庭を誰一人取り残さず」としてはどうか

基本目標4	自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる	担当 分科会	総務分科会
-------	---------------------	-----------	-------

1 基本目標と「ねらい」

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・素案への指摘事項に対する対応状況の確認	【不足している視点】（☒ 概ね妥当） ・なし 【課題と思われる視点】（☒ 概ね妥当） ・なし 【判断に迷う点】（☒ 概ね妥当） ・なし
基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・「素案」から「原案」へ至る考え方は	【基本目標と「ねらい」の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・なし 【「戦略（考え方）の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・なし
基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・その他気付いた点	・なし

基本目標5	誰もが多様な働き方で活躍でき、 次世代につながる魅力ある産業をつくる	担当 分科会	産業建設分科会
-------	---------------------------------------	-----------	---------

○ 基本目標と「ねらい」と戦略（考え方）

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ 素案への指摘事項に対しての対応状況の確認	【不足している視点】（☒ 概ね妥当） ・ 地域内経済循環の指標について、本来は「生産」「分配」「支出」の循環を分析（現状と将来あるべき姿を数値化）できる指標が必要と考えるが、想定する KPI の中に域産域消を示す指標があること、2店舗4品目の調査に入っていることから、今後の動向を見守ることとする。 ・ 「環境文化都市」の視点については、本来全体の基本目標の横串となるべき視点であるため、難しい側面があると感じるが、「環境をテコにくらしと経済を再生していく」視点から、「環境文化都市」の文言を加える、或いは「ねらい」や戦略共に環境の要素が盛り込まれているため、今後示される小戦略等へ具体的な取組として記載する必要がある。 【課題と思われる視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【判断に迷う点】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ 「素案」から「原案」へ至る考え方は	【基本目標と「ねらい」の考え方は】（☒ 概ね妥当） 【指摘事項】 ・ 「ねらい」の2つ目の○で「地域の全ての産業が成長・発展するように人材不足の緩和と適応を図ります。」とあるが、これだと人材不足の緩和と適応が図られれば全ての産業が成長・発展するようにも読める。全ての産業の成長・発展にはさまざまな要素があることから、書きぶりの再考を望む。 【「戦略（考え方）の考え方は】（☒ 概ね妥当） 【指摘事項】 ・ 産業建設分科会から指摘した「地域内経済循環の推進にあたっての企業や生産者の意識づけ」や「女性や若者が活躍できる環境整備」は大変重要な視点と考える。今後示される小戦略等で注視していくこととする。
・ その他気付いた点	・ なし

基本目標 6	誰もが生涯を通じて その人らしく暮らすまちをつくる	担当 分科会	社会文教分科会
--------	------------------------------	-----------	---------

1 基本目標と「ねらい」

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ 素案への指摘事項に対しての対応状況の確認	【不足している視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【課題と思われる視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【判断に迷う点】（☒ 概ね妥当） ・ なし

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ 「素案」から「原案」へ至る考え方は	【基本目標と「ねらい」の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【「戦略（考え方）の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ その他気付いた点	・ なし

基本目標 7	リニア・三遠南信道時代に向けた まちの基盤をつくる	担当 分科会	産業建設分科会 リニア推進特別
--------	------------------------------	-----------	--------------------

○ 基本目標と「ねらい」と戦略（考え方）

基本目標の「ねらい」（後期計画4年間の取組の方向性）、戦略（考え方）の考え方	
・ 素案への指摘事項に対しての対応状況の確認	【不足している視点】（☒ 概ね妥当） ・ 4つの指摘事項については、想定する主な取組「関係者等への意向や環境影響等への十分な配慮を行いながら、リニア駅前広場の一部供用を行うなど段階的な活用を目指した整備」の中で行うとのことであった。今後示される小戦略等で注視していくこととする。 【課題と思われる視点】（☒ 概ね妥当） ・ なし 【判断に迷う点】（☒ 概ね妥当） ・ DXの推進について、「まちの基盤」をつくるという視点から、この基本目標とのことであるが、情報系のイメージが強くその進捗状況は見えにくい状況にある。DXの推進は、今後更にまちづくりのあり方にも大きく影響を与える事項と考えられる。高齢化率の高い当地域にあっては、デジタル弱者への対応も求められている。各基本目標の戦略において「デジタル技術の活用」がうたわれており、DXへの取り組みは大きなテーマとして捉える必要がある。
・ 「素案」から「原案」へ至る考え方は	【基本目標と「ねらい」の考え方は】（☐ 概ね妥当 ☒ 一部変更） 【指摘事項】 ・ 「ねらい」1つ目の項目、素案では「～見据えた土地利用計画の検討、見直しを進めます」、原案では「～見据えた土地利用の誘導を図ります」となっている。全市的・広域的な土地利用が示されていない段階としては、「誘導」という言葉は違和感があるため、「～見据えた効果的な土地利用を推進します」に一部変更する必要がある。 【「戦略（考え方）の考え方は】（☒ 概ね妥当） ・ なし
・ その他気付いた点	・ 「原案」戦略（考え方）の3つ目◆「～（略）～関係機関等との調整を図るとともに関係者等の意向や環境影響等に十分配慮しながらグリーンインフラ等の～（略）～」文章中の「等」の記載に工夫が必要。